社 会 資 本 総 合 整 備 計 画

札幌市における全ての人や環境にやさしいまちづくり

（第１回変更）

令 和 ６ 年 ２ 月 ５ 日

北 海 道 札 幌 市

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

令和６年２月５日

計画の名称	札幌市における全ての人や環境にやさしいまちづくり			重点配分対象の該当	無
計画の期間	令和５年度　～　令和９年度　（５年間）	交付対象	北海道札幌市		

計画の目標

札幌市では、最上位計画である「第２次札幌市まちづくり戦略ビジョン（令和４年１０月議決）」において、都市像の実現に向けた３つの「まちづくりの重要概念」の１つとして、「ユニバーサル（共生）」を位置付けている。また、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」（バリアフリー法）の規定により国が定めた「移動等円滑化の促進に関する基本方針」に基づき、令和４年６月に「札幌市バリアフリー基本構想２０２２」を策定し、同構想において、建築物については、市内全域を対象に、バリアフリー法及び札幌市福祉のまちづくり条例に基づき、バリアフリー化を推進することを基本方針に掲げ、既存の市有建築物における特別特定建築物については、建築物の特性、利用実態、施工性及び費用等を総合的に検討し、整備を進めることを、民間建築物については、財政的支援等に取り組むことを位置付けている。

このような中で、2,000㎡未満の既存の民間建築物やバリアフリー法制定以前に建築された既存の建築物については、バリアフリー面での課題を抱えているものも存在していることから、小規模店舗や医療施設等を営む事業者及び宿泊施設を営む事業者へのバリアフリー改修への支援を行うとともに、市有建築物における特別特定建築物のバリアフリー改修を行う。

計画の成果目標（定量的指標）

まちのバリアフリー化が進んでいると感じる市民の割合

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 (R4)	中間目標値	最終目標値 (R9末)	備考
まちのバリアフリー化が進んでいると感じる市民の割合　【%】	55%		66%	

全体事業費	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	1,837百万円	Ａ	1,837百万円	Ｂ	0百万円	Ｃ	0百万円	Ｄ	百万円	効果促進事業費の割合 Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0.00%

交付対象事業

Ａ　基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） R5	R6	R7	R8	R9	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設設計策定状況
A16-001	住宅	一般	札幌市	直接	札幌市	公共施設バリアフリー化促進費	既存建築物バリアフリー改修	札幌市						1,458		
	備考：当事業は、「誰もが互いにその個性や能力を認め合い、多様性が強みとなる社会」の実現に資するものであり、費用便益分析による評価は必ずしもなじまない。															
A16-002	住宅	一般	札幌市	間接	民間	札幌市民間公共的施設バリアフリー補助事業	既存建築物バリアフリー改修費用の助成	札幌市						76		
	備考：当事業は、「誰もが互いにその個性や能力を認め合い、多様性が強みとなる社会」の実現に資するものであり、費用便益分析による評価は必ずしもなじまない。															
A16-003	住宅	一般	札幌市	間接	民間	札幌市宿泊施設バリアフリー化推進事業	既存建築物バリアフリー改修費用の助成	札幌市						303		
	備考：当事業は、「誰もが互いにその個性や能力を認め合い、多様性が強みとなる社会」の実現に資するものであり、費用便益分析による評価は必ずしもなじまない。															
								合計						1,837		

Ｂ　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） R2	R3	R4	R5	R6	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設設計策定状況
								合計						0		

C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
									R2	R3	R4	R5	R6		
													合計	0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

D　社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
									R2	R3	R4	R5	R6		
													合計	0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

交付金の執行状況

（単位:百万円）

	R5	R6	R7	R8	R9	
配分額 (a)	7,306					
計画別流用 増△減額 (b)	0					
交付額 (c=a+b)	7,306					
前年度からの繰越額 (d)	0					
支払済額 (e)	7,306					
翌年度繰越額 (f)	0					
うち未契約繰越額 (g)	0					
不用額 (h = c+d-e-f)	0					
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%					
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由						

※　R2年度以降の各年度の決算額を記載。

（参考図面）

計画の名称	札幌市における全ての人や環境にやさしいまちづくり		
計画の期間	令和５年度～令和９年度（５年間）	交付対象	北海道　札幌市

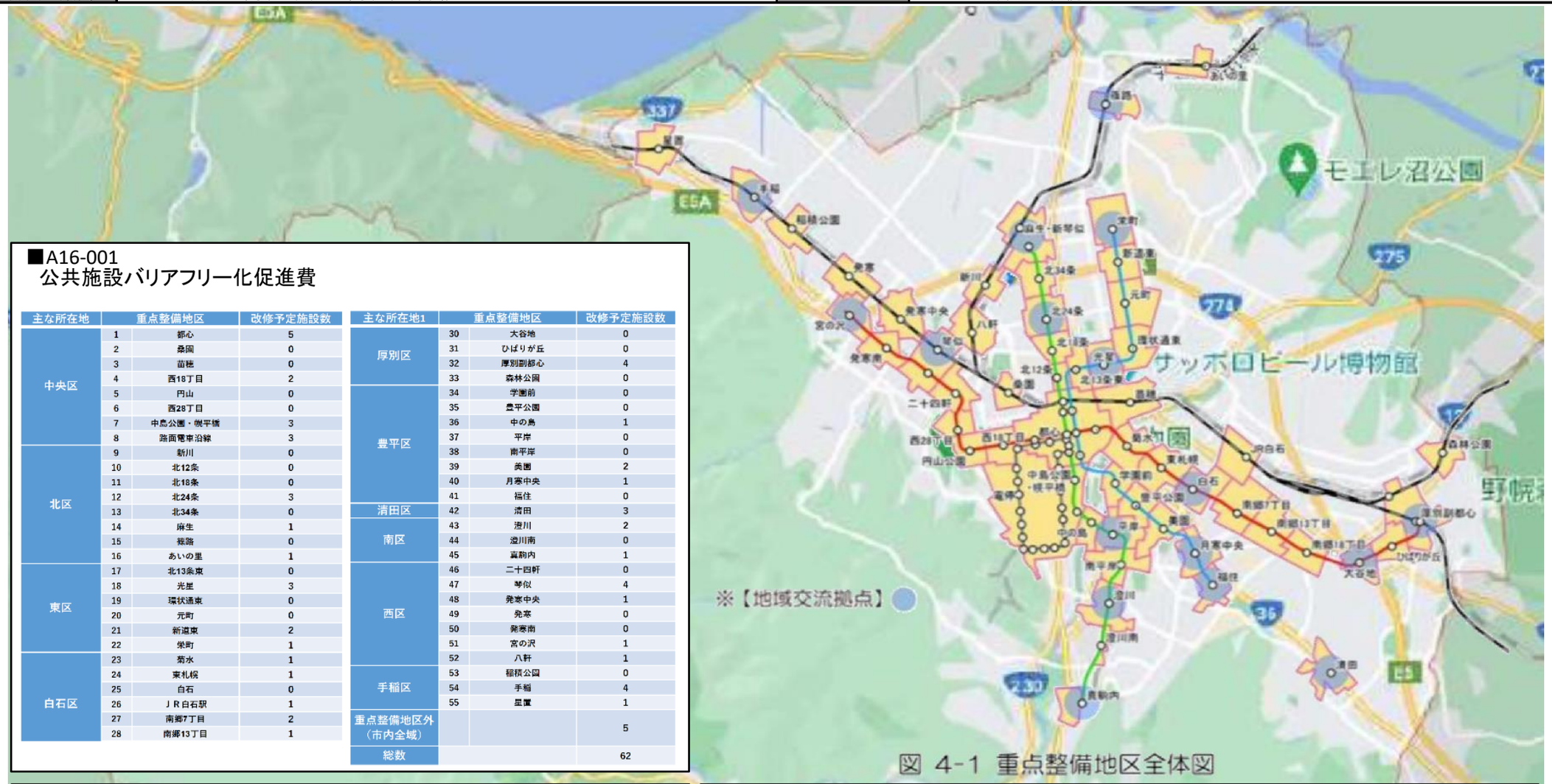

図 4-1 重点整備地区全体図

■A16-001
公共施設バリアフリー化促進費

主な所在地		重点整備地区	改修予定施設数
中央区	1	都心	5
	2	桑園	0
	3	苗穂	0
	4	西18丁目	2
	5	円山	0
	6	西28丁目	0
	7	中島公園・幌平橋	3
	8	路面電車沿線	3
北区	9	新川	0
	10	北12条	0
	11	北18条	0
	12	北24条	3
	13	北34条	0
	14	麻生	1
	15	篠路	0
	16	あいの里	1
東区	17	北13条東	0
	18	光星	3
	19	環状通東	0
	20	元町	0
	21	新道東	2
	22	栄町	1
白石区	23	菊水	1
	24	東札幌	1
	25	白石	0
	26	ＪＲ白石駅	1
	27	南郷7丁目	2
	28	南郷13丁目	1

主な所在地1		重点整備地区	改修予定施設数
厚別区	30	大谷地	0
	31	ひばりが丘	0
	32	厚別副都心	4
	33	森林公園	0
豊平区	34	学園前	0
	35	豊平公園	0
	36	中の島	1
	37	平岸	0
	38	南平岸	0
	39	美園	2
	40	月寒中央	1
	41	福住	0
清田区	42	清田	3
南区	43	澄川	2
	44	澄川南	0
	45	真駒内	1
西区	46	二十四軒	0
	47	琴似	4
	48	発寒中央	1
	49	発寒	0
	50	発寒南	0
	51	宮の沢	1
	52	八軒	1
手稲区	53	稲積公園	0
	54	手稲	4
	55	星置	1
重点整備地区外（市内全域）			5
総数			62

■A16-002
札幌市民間公共的施設バリアフリー補助事業

以下①～③の要件をすべて満たすものであること
①　不特定かつ多数の者が利用する施設
②　床面積が2，000 ㎡未満で、かつ改修が必要な施設
③　福祉のまちづくり条例施行規則別表1の1(建築物)のうち、下記のいずれかに該当する施設
〇病院又は診療所　〇物品販売業を営む店舗　〇飲食店
〇サービス業を営む店舗

※改修施設は、当該年度に公募により決定

■A16-003
札幌市宿泊施設バリアフリー化推進事業

補助対象：札幌市内の宿泊施設

※改修施設は、当該年度の公募により決定

事前評価チェックシート

計画の名称： 札幌市における全ての人や環境にやさしいまちづくり

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等　１）まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I.　目標の妥当性 ①都市再生基本方針との適合等　２）上位計画等と整合性が確保されている。	○
I.　目標の妥当性 ②地域の課題への対応　１）地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I.　目標の妥当性 ②地域の課題への対応　２）まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　１）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　２）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　３）目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　４）指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等　５）地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II.　計画の効果・効率性 ④事業の効果　１）十分な事業効果が確認されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ④事業の効果　２）事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III.　計画の実現可能性 ⑤地元の熱意　１）まちづくりに向けた機運がある。	○
III.　計画の実現可能性 ⑤地元の熱意　２）住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III.　計画の実現可能性 ⑤地元の熱意　３）継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III.　計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境　１）計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

案件番号：0000450318

事　前　評　価	チェック欄
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境　2）交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境　3）計画について住民等との間で合意が形成されている。	○